

Comic Genius: Kawanabe Kyosai

暁斎の戯画・狂画展

暁斎楽画第一 地獄の文明開化 / 及川茂氏蔵



1996 4月13日(土) ~ 5月12日(日)

開館時間 / 午前9時 ~ 午後5時 (入室は午後4時30分まで) 初日は午前10時開展
金曜日は午後7時まで開館 (入室は午後6時30分まで)
月曜日は休館 (ただし4月29日(月)開館・4月30日(火)休館 5月6日(月)開館・5月7日(火)休館)

高松市美術館

高松市紺屋町10-4
TEL(0878)23-1711

入場料 / 一般700円 高大生400円 小中生200円

- 一般前売りおよび団体20名様以上は2割引
- 高松市に住所を有する長寿手帳・身体障害者手帳または療育手帳所持者は無料
- 第2・第4土曜日は小・中・高生無料

主催 / 高松市美術館・四国新聞社・西日本放送 協力 / 日本航空



美女の袖を引く骸骨たち／ビティヒハイム市立美術館蔵

「鳥獣戯画」など、日本では古くから滑稽さや風刺を盛り込んだ「戯画・狂画」がさかんに描かれてきました。特に幕末から明治にかけての激動の時代には、移りゆく世の中の姿を鮮やかに映し出すこれらの絵画が、多くの絵師によって描かれました。

河鍋暁斎(かわなべ・きょうさい、天保2年～明治22年)もそのような絵師の一人でした。7歳で歌川国芳に浮世絵を学んだ後、狩野派に転じ免状を得た暁斎は、中国絵画・日本古来の絵画・浮世絵を詳しく研究し、それらを自らの絵画の中に取り入れ、独自の画境を展開させていきました。狩野派の絵師である暁斎は伝統的な絵画も描きましたが、とりわけ彼が特異な才能を発揮させたのは「戯画・狂画」の分野においてでした。人一倍強い反骨精神の持ち主であった暁斎は、時代のうねりの中で翻弄されていく人々の姿を、巧みな筆づかいによってユーモラスにそしてアイロニカルに写し取って見せました。

暁斎の絵画に感銘を受けたのは、日本人よりもむしろ当時来日していた外国人たちでした。主題の面白さもさることながら、「北斎の再来」といわれるほど技術的にも卓越した暁斎の作品は、外国の美術愛好家に称賛され、その多くが海外へと運ばれていきました。この頃浮世絵がフランス人、アメリカ人によって「発見」され、国際的な評価を受けたように、暁斎もまた外国人によって「発見」され、世界的な画家として知られるようになっていったのです。

本展では、大英博物館・ライデン国立民族学博物館をはじめとする欧米の美術館・個人コレクター所蔵の海外流出作品を中心に、肉筆画・版画など約200点により、暁斎の「戯画・狂画」の世界をあますところなく紹介します。また昨年4月にドイツのビティヒハイム市立美術館において新たに発見された暁斎の作品十数点も、あわせて特別に初公開いたします。



紀元2534年新宅愉快図／大英博物館蔵



漂流奇譚西洋劇 米国砂漠原野之図／ビティヒハイム市立美術館蔵

- 記念講演会
「暁斎の人と芸術」
 講師 及川 茂
 (おいかわ しげる・日本女子大学教授)
 日 時 / 4月21日(日)午後1時30分から
 場 所 / 高松市美術館 講堂
 入場料 / 無 料 (先着200名様)
- 次回展覧会のお知らせ
日本工芸の青春期展
 5月24日(金)～6月23日(日)
- 催し物のお知らせ
ミュージアムライブ
「水戸茂雄リユート・コンサート」
 5月30日(木)午後6時30分開演



ハスの花の上で三味線を弾くカエル／イスラエル・ゴールドマン氏蔵



武士と異人の問答／イスラエル・ゴールドマン氏蔵



カエルの学校／イスラエル・ゴールドマン氏蔵

作品保護のため会期中版画作品の一部を展示替えいたします。あらかじめご了承ください。